

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年11月22日(2012.11.22)

【公表番号】特表2012-504589(P2012-504589A)

【公表日】平成24年2月23日(2012.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2012-008

【出願番号】特願2011-529634(P2011-529634)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/02 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/02

A 6 1 K 39/39

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月2日(2012.10.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

薬学的に許容されるアジュバンド中に治療的有效量の炭疽菌抗原を含み、かつ0.25 mM～10 mMの範囲の濃度でホスフェート塩を含む、炭疽菌ワクチン。

【請求項2】

前記炭疽菌抗原が炭疽菌保護抗原(PA)である、請求項1に記載の炭疽菌ワクチン。

【請求項3】

前記炭疽菌保護抗原(PA)が組換え炭疽菌保護抗原(rPA)である、請求項2に記載の炭疽菌ワクチン。

【請求項4】

前記アジュバンドがアルハイドロゲル(アルミニウムオキシヒドロキシド)である、請求項1に記載の炭疽菌ワクチン。

【請求項5】

前記ホスフェート塩の濃度が2 mM～10 mMの範囲である、請求項3又は4に記載の炭疽菌ワクチン。

【請求項6】

前記ホスフェート塩の濃度が3 mM～5 mMの範囲である、請求項3又は4に記載の炭疽菌ワクチン。

【請求項7】

前記ホスフェート塩の濃度が3.5 mM～4.5 mMの範囲である、請求項3又は4に記載の炭疽菌ワクチン。

【請求項8】

前記ホスフェート塩の濃度が3.8 mM～4.2 mMの範囲である、請求項3又は4に記載の炭疽菌ワクチン。

【請求項9】

前記ホスフェート塩の濃度が3.9 mM～4.1 mMの範囲である、請求項3又は4に記載の炭疽菌ワクチン。

【請求項10】

前記ホスフェート塩の濃度が約4.0である、請求項3又は4に記載の炭疽菌ワクチン。

【請求項11】

前記ワクチンのpHが約7.0～7.2の範囲である、請求項1に記載の炭疽菌ワクチン。

【請求項12】

前記アルハイドロゲル（ミョウバン）が約0.15～0.35%で存在する、請求項4に記載の炭疽菌ワクチン。

【請求項13】

前記アルハイドロゲル（ミョウバン）が約0.20～0.30%で存在する、請求項4に記載の炭疽菌ワクチン。

【請求項14】

前記rPAが10～300 $\mu\text{g}/\text{ml}$ の範囲である、請求項3に記載の炭疽菌ワクチン。

【請求項15】

前記rPAが150～250 $\mu\text{g}/\text{ml}$ の範囲である、請求項3に記載の炭疽菌ワクチン。

【請求項16】

前記rPAが50～300 $\mu\text{g}/\text{ml}$ の範囲である、請求項3に記載の炭疽菌ワクチン。

【請求項17】

前記rPAが100～300 $\mu\text{g}/\text{ml}$ の範囲である、請求項3に記載の炭疽菌ワクチン。

【請求項18】

前記rPAが約100 $\mu\text{g}/\text{ml}$ で存在し、前記ホスフェートが約4mMで存在し、前記アルハイドロゲルが約0.26重量%で存在し、かつ前記ワクチンのpHが約7.1である、請求項4に記載の炭疽菌ワクチン。